

令和3年3月10日

保護者の皆さま

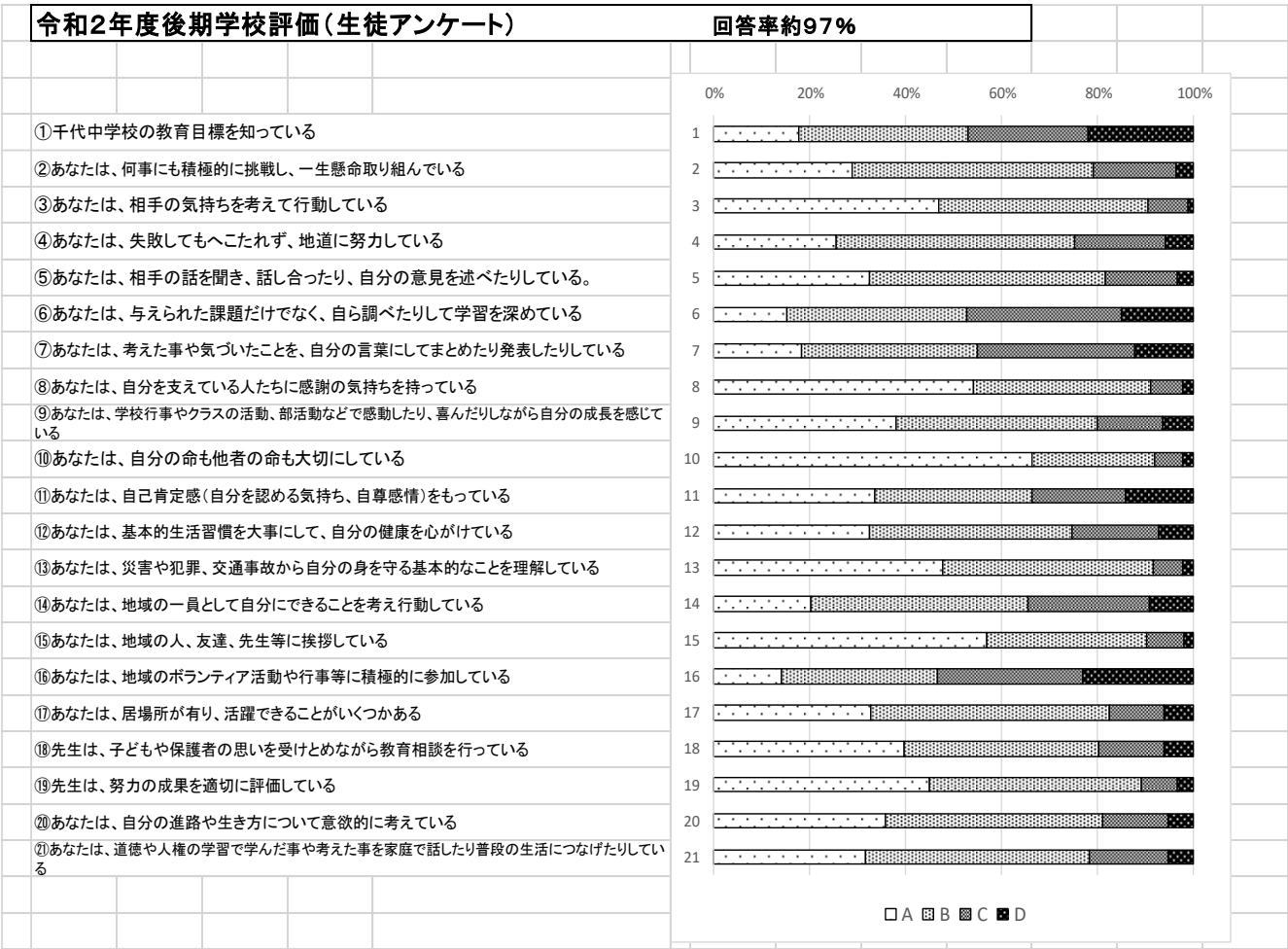
小田原市立千代中学校
校長 栢本 尚之

令和2年度後期学校評価の結果について

春暖の候、保護者の皆さまには、ますますご健勝のことと存じます。

さて、過日は、令和2年度後期学校教育活動の評価（保護者アンケート）にご協力をいただきありがとうございました。その結果について、次の通りまとめましたのでお知らせします。保護者の皆様、生徒のアンケート等を通して、本校の後期教育活動の成果や課題について考えることができました。以下に示した各項目の数値やご意見を参考にしながら、今後の教育活動をより充実したものにしていきたいと考えております。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願いします。

なお、集計結果についてのグラフは、生徒、保護者、教職員評価を掲載しますが、考察については、生徒アンケートを中心に、学校経営計画（グランドデザイン）に沿ってまとめさせていただきました。



令和2年度後期学校評価（保護者アンケート）					回答率 69%					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
①千代中学校の教育目標を知っている					1					
②お子さんは何事にも積極的に挑戦し、一生懸命取り組んでいる					2					
③お子さんは相手の気持ちを考えて行動している					3					
④お子さんは、失敗してもへこたれず、地道に努力している					4					
⑤お子さんは相手の話を聞き、話し合ったり、自分の意見を述べていたりする。					5					
⑥お子さんは与えられた課題だけでなく、自ら調べたりして学習を深めている					6					
⑦お子さんは、考えた事や気づいたことを、自分の言葉にしてまとめたり発表したりしている					7					
⑧お子さんは、自分を支えている人たちに感謝の気持ちを持っている					8					
⑨お子さんは、学校行事やクラスの活動、部活動などで感動したり、喜んだりしながら自分の成長を感じている					9					
⑩お子さんは、自分の命も他者の命も大切にしている					10					
⑪お子さんは、自己肯定感（自分を認める気持ち、自尊感情）をもっている					11					
⑫お子さんは、基本的な生活習慣を大事にして、自分の健康を心がけている					12					
⑬お子さんは、災害や犯罪、交通事故から自分の身を守る基本的なことを理解している					13					
⑭お子さんは、地域の一員として自分にできることを考え行動している					14					
⑮お子さんは、地域の人、友達、先生等に挨拶している					15					
⑯お子さんは、地域のボランティア活動や行事等に積極的に参加している					16					
⑰お子さんには居場所が有り、活躍できることがいくつかある					17					
⑱先生は、子どもや保護者の思いを受けとめながら教育相談を行っている					18					
⑲先生は、努力の成果を適切に評価している					19					
⑳お子さんは、自分の進路や生き方について意欲的に考えている					20					
㉑お子さんは、道徳や人権の学習で学んだ事や考えた事を家庭で話したり普段の生活につなげたりしている					21					
					☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☐ E					

令和2年度後期学校評価（教師アンケート）					回答率100%					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
①千代中学校の教育目標を意識して取り組んでいる					1					
②生徒は、何事にも積極的に挑戦し、一生懸命取り組んでいる					2					
③生徒は、相手の気持ちを考えて行動している					3					
④生徒は、失敗してもへこたれず、地道に努力している					4					
⑤生徒は、相手の話を聞き、話し合ったり、自分の意見を述べたりしている。					5					
⑥生徒は、与えられた課題だけでなく、自ら調べたりして学習を深めている					6					
⑦生徒は、考えた事や気づいたことを、自分の言葉にしてまとめたり発表したりしている					7					
⑧生徒は、自分を支えている人たちに感謝の気持ちを持っている					8					
⑨生徒は、学校行事やクラスの活動、部活動などで感動したり、喜んだりしながら自分の成長を感じている					9					
⑩生徒は、自分の命も他者の命も大切にしている					10					
⑪生徒は、自己肯定感(自分を認める気持ち、自尊感情)をもっている					11					
⑫生徒は、基本的な生活習慣を大事にして、自分の健康を心がけている					12					
⑬生徒は、災害や犯罪、交通事故から自分の身を守る基本的なことを理解している					13					
⑭生徒は、地域の一員として自分にできることを考え行動している					14					
⑮生徒は、地域の人、友達、先生等に挨拶している					15					
⑯生徒は、地域のボランティア活動や行事等に積極的に参加している					16					
⑰生徒は、居場所が有り、活躍できることがいくつかある					17					
⑱生徒は、悩みや困ったことなどを素直に相談してくれる					18					
⑲生徒がよいことをしたときや努力したことを適切に評価している					19					
⑳生徒は、学級活動、総合、授業などを通して、自分の進路や生き方について考えることができた					20					
㉑あなたは、道徳や人権の学習で学んだ事や考えた事を家庭で話したり普段の生活につなげたりしている					21					
						□ A ■ B ▨ C ■ D				

《後期考察》

○学校教育目標について ①

教育目標については、前期は、学年が上がるにつれてＡＢ評価が増えていましたが、後期もその傾向は変わらず、全体的には約半数が学校教育目標を意識して行動していないことがわかりました。これは、教職員の反省であり、育成すべき生徒像を意識した教育活動を行う必要を強く感じています。一方で、保護者の皆様には少しずつ浸透していることがわかりました。

○千代中ヒーロー について ② ③ ④

千代中ヒーローについては、「相手の気持ちを考え行動している」のＡＢの割合が上がっています。「失敗してもへこたれず地道に努力している」が全体を通して、ＣＤの割合が高くなりました。保護者アンケートでは、どの項目も前期より評価があがり、ＡＢ評価が８０％以上になっています。令和３年度から、自分の学習を振り返り調整して粘り強く努力していく姿勢がより大事になりますので、生徒の自己肯定感、自己有用感を高めながら諦めない気持ちを育てたいと思います。

○学び（思考力・判断力・表現力の育成）⑤ ⑥ ⑦

学びの項目については、生徒、保護者アンケート共に前期とかわりませんが、「考えた事や気づいたことを自分のことばにしてまとめたり、発表したりしている」については、教師のＡＢ評価が８０％以上に上がっています。今後も、自ら学びを深めていく生徒を育成していくための教科指導や教育活動のあり方を考えていきたいと思います。次年度全面実施となる新学習指導要領に対応した学習評価では、「主体的に学習に取り組む態度」が、三観点の一つの観点になりますので、粘り強く課題に向かう意欲や自分の学習過程を振り返りながら学習を進める姿勢を育成するため、令和３年度始めに、「千代中学びプラン」を提示し、それに沿って進めて行きます。

○豊かな心（豊かな心と人間性）について ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

「自分を支えている人たちに感謝の気持ちを持って生活している」については、後期も生徒のＡ評価はさらに高くなっています。「学校行事などで自分の成長を感じている」については、前期に比べて１，２年生は、Ａの割合が低くなっています。後期は大きな学校行事を実施していないことも影響していると思います。「自分の命も他者の命も大切にしている」については、生徒、保護者ともに、どの項目よりもＡ評価の割合が高くなっています。しかし、ＣＤが前期同様、１０％程度いることから今後も命の授業について充実させていきます。またそれにかかわる自己肯定感、自己有用感についてもＡＢ評価は、前期同様約７０％ですが、自分のいいところを一つも言えない生徒が約３０％いました。まず自分のことを好きになるために、引き続き良いところ、できることを自覚できる教育活動や、学級、家庭、地域社会での所属感や誰かのために役に立っている経験を積み重ねていくことが大切だと考えます。

○命（健全な精神と健全な体）について ⑫ ⑬

「基本的生活習慣を大事にして自分の健康を心がけている」については、前期と同じ傾向でした。ネットとのつきあい方については、次年度は、情報モラル等も含めて、学校保健委員会でテーマとして取り上げ、生徒が主体的に考え判断する取り組みを行う予定です。「災害や犯罪、交通事故から自分の身を守る基本的なことを理解している」についても、前期同様生徒はＡ評価が半数程度で、Ｂ評価も含めると９０％になっています。今後も、訓練が“慣れ”にならないように内容を変えて実施していきたいと考えます。交通安全に関しては、地域の方から自転車の乗り方についてご指摘いただくこともありましたので、来年度交通安全指導を早めに実施する方向でいます。

○未来をつくるたくましい子どもについて ⑭ ⑮ ⑯

地域とのかかわりについての質問項目では、地域の人への挨拶はできているが、「**地域の一員として自分にできることを考え行動している**」等が前期同様低いことがわかりました。（これは、保護者、教師共に同じ傾向になっています。）新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、できないことも多くありましたが、コロナ禍の中でもできる地域とのつながりを令和3年度も模索していきます。総合的な学習の時間を柱として、SDGs（持続可能な開発目標）に学校全体で取り組み、地域理解学習をより一層進めます。

○学校・先生との関係 ⑰ ⑱ ⑲

「**学級に居場所があり活躍できることがいくつかある**」については、前期と同様に生徒はA B評価が約80％程度いますが、CD評価の生徒も20％いました。居場所づくりや生徒が活躍できる場をさらに増やしていくよう努めます。「**先生は努力の成果を適切に評価している**」については、生徒はA評価が50％ですが、保護者はやや低い評価になっています。学習面の評価については、お子さんの学習状況の成果や課題が明確になるように、面談の時期も合わせて検討しています。

○キャリア・道徳 ⑳ ㉑

「**学級活動、総合、授業などを通して自分の進路や生き方について考えた**」については、前期に比べ、A B評価が80％になりました。前期同様、学年が上がるに連れてA Bの割合が増加しています。学活や総合的な学習の時間に、進路や職業について学習したことで自分の進路を重ねて考えることができたと思われます。「**道徳や人権の学びを生活に生かしている**」についても、前期に比べわずかですが、A Bの割合が増えています。全校道徳等の授業の工夫や人権教育などで、少しずつですが行動変容が見られるようになっています。

《ご意見等について》

保護者の皆様のご意見の中で、電話対応、インクルーシブ教育、学校経営、生徒との接し方、教育相談等についてご指摘をいただきました。このことを、全職員で共有すると共に、改善すべき点は改善し、次年度の学校経営につなげていきます。

生徒指導については、防寒着（アウター）や膝掛けについては、現在は使用を許可しています。防寒着を着用して登校している生徒も多数いますが、周知が不十分であることがわかりましたので、もう一度確認をしていきます。その他の直ぐにお答えできない生徒指導に関わるご意見については、今後生徒指導部で相談して進めていきます。

その他、道徳の授業について参考となる提案をいただきました。また、ホームページや学級通信に対する温かいお言葉やコロナ禍の教育活動に対するねぎらいの言葉もいただきました。励みになります。ありがとうございました。

《令和3年度に向けて》

令和2年度の学校評価を基に、令和3年度は、次のことを重点に取り組んでいきます。

- ①各教科や特別活動で学び合い学習を通した言語活動の充実を図り、人間関係の基盤となるコミュニケーション能力を向上させていきます。
- ②指導と評価の一体化と教科横断的な視点で、これからの時代に必要な資質・能力の育成を目指します。
- ③自他の生命を尊重する気持ち、感謝の気持ち、自分の命を自分で守ることができる生徒を育てます。
- ④地域との連携を図り、生徒一人一人が自己肯定感、自己有用感を感じられる教育活動やキャリア教育を推進します。

新学習指導要領の基つき、授業をすすめる。

- ・自己肯定感 1 1

自分の好きなことを言える。

お互いを認め合う学級経営 役割

- ・地域学習

- ・ボランティア

道徳、人権学習